

TWX-2400D

2.4 GHz Two Way RS485 Data and Digital I/O Transceiver Set

2.4GHz双方向RS485・デジタルI/O伝送 送信受信セット



2.4GHz
 140mW 出力
 送信・受信ユニット セット
 PTZカメラの無線による制御に最適
 見通し750m
 ※カメラ映像の無線伝送には別途無線ユニットが必要です

オプション: 各種アンテナ、ケーブル、電源TY-S12-1000

(これらは本体に付属していません。本機器適用のオプションを各種用意しています。)

チャンネル	2400~2472MHz 72chから自動検出(CE RITE)
RF TX出力	140mW
RX 最小感度	-90dBm
RF インピーダンス	50Ω
アンテナコネクタ	SMAメス
RS485	2線 RS485 Half Duplex ボーレート: 2400/4800/9600 ビットレート: 8 スタートビット: 1 ストップビット: 1 パリティ: No 終端抵抗: 120Ω ON/OFF設定
アラーム(双方向)	デジタル入力(DI): TTL/CMOS デジタル出力(DO): NC/COM/NO(ドライコンタクト) レベル検知 5V TTL
使用電源	DC12V
消費電力	90mA
伝送距離	見通し750m ただし、設置環境、アンテナによる
外形寸法	W92 x H25 x D75 mm
重量	各 約130g
ケース材質	メタル
動作環境温度	-10°C~50°C ※50°Cを超える場所で使用しないでください
保管環境温度	-20°C~60°C
対応アンテナ	TWA-2400AN3、TWA-2400AN5 他
対応アンテナケーブル	※TWC-03もしくはTWC-05をアンテナに応じて選定ください
オプション	DC12V電源アダプター(TY-S12-4000)

■ 構成例



PTZカメラ+送信ユニット+5m延長ケーブル+屋外パネル型アンテナ

※送信・受信間に遮蔽物がある場合は伝送できません。

※信号が干渉される場合、
アンテナの角度調整を行ってください。

※映像信号・音声信号の無線伝送には、
TWX-2400VAD/TWR-2400VAD
をご検討ください。



屋外パネル型アンテナ+5m延長ケーブル+受信ユニット+コントローラ

製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。

Jul-20

株式会社スリーディー

154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー17F TEL:03-5431-5971 FAX:03-5431-5970 e-mail:info@3d-inc.co.jp

TWX-2400D

2.4 GHz Two Way RS485 Data and Digital I/O Transceiver Set

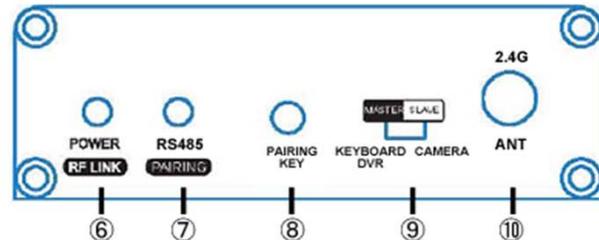
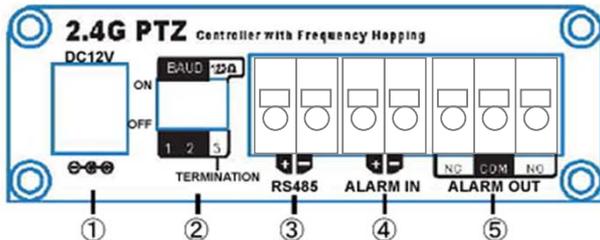
2.4GHz双方向RS485・デジタルI/O伝送 送信受信セット

※送信ユニット・受信ユニットは同じ製品です。

DIPスイッチの「MASTER」、「SLAVE」設定により、コントローラユニット用、カメラ用に設定します。

■ケーブル接続側

■LED点灯側



- ①DC12電源入力 : DC12V入力
- ②ポーレート、終端抵抗 : DIPスイッチでポーレート、120Ω終端抵抗を設定します。DIPスイッチでポーレート変更後はユニットの電源を入れなおして再起動してください。
※右図参照
- ③RS485ポート : 2線式半2重RS485対応
- ④アラーム入力 : TTL/CMOS入力 このポートにはセンサーなどを接続します。
- ⑤アラーム出力 : リードリレー出力(NC/COM/NO) このポートにはサイレンなどを接続します。
- ⑥電源/RFリンク状態 : 電源とRFリンクの状態を示します。
電源ON時: 点灯
RFリンクロス時: 低速点滅
- ⑦RS485/ペアリング状態 : RS485の送受信やペアリング状態を示します。
RS485送受信完了時: 高速点滅
ペアリング未完了時: 低速点滅
- ⑧ペアリングキー : ペアリング設定時に使用します。ペアリング設定は、必ず、RS485を接続する前に行ってください。ペアリング設定に関しては下記の**ペアリング手順**をご参照ください。
- ⑨MASTER/SLAVE : ユニットの「MASTER(マスター)」、「SLAVE(スレイブ)」を設定します。
- ⑩アンテナ接続端子 : 2.4GHz SMA端子の当社指定アンテナを接続します。

② ポーレート設定

ON	↑	1	2	2400 bps
ON	↑	1	2	4800 bps
ON	↑	1	2	9600 bps
ON	↑	1	2	2400 bps

ペアリング手順

- 録画装置やコントローラ接続するユニットを「MASTER」、カメラを接続するユニット「SLAVE」に設定します。
- 「MASTER」側のペアリングキーを押したままの状態DC12V電源を接続します。
ペアリング状態を示すLED(⑦)が点滅します。
- 「SLAVE」側も同様に2の工程を行います。
- ペアリングが完了すると双方のRFリンク状態を示すLED(⑥)が点灯します。

■注意事項

- 水のかかる環境で使用しないでください。
- 埃等が付着した場合は、柔らかい布でアルコールを付けて拭いてください。
- アンテナ接続部のメッキ部分を素手で触らないでください。油の癒着により性能が劣化します。
- アンテナを接続してから電源を入れてください。
- 55°Cを超える環境、振動のある環境で使用しないでください。
- 使用中に振動を与えないようにしてください。
- 電源は、安定化電源を使用してください。
- 電源及びアンテナ、ケーブルなどは、当社指定電源を使用してください。これ以外の接続使用時は保証対象外とさせていただきます。

製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。

Jul-20